

ご参考

■株式会社ゼブラグリーンの概要

所 在 地	兵庫県加古川市志方町原 759-1 【参考】農場：ゼブラファーム加古川、リブリーフ（兵庫県加古川市）、 ゼブラファーム能勢天王（大阪府豊能郡能勢町）、ゼブラファーム姫路（兵庫県姫路市）
代 表 者	柿坪 俊彦（かきつぼ としひこ）
設 立 日	2021 年 11 月
事 業 内 容	・ アグリ事業（農産物の生産、販売、加工、農地の管理） ・ 農業参入企業へのコンサルティング（人材育成・販売支援等） ・ 健康とおいしさを両立する研究開発
特 徴	「Seed to Health」をブランドコンセプトに、トマト栽培を中心としたアグリ事業を展開し、品種の選定から生産、流通、販売までを一気通貫で手掛けています。 主力商品である「たまとま」は抗酸化作用があるとされるリコピンやうまみのもととなるグルタミン酸が豊富に含まれており、調理しやすいことが特徴です。

■阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合の概要

ファンド名称	阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合
ファンド規模	30 億円
設 立 日	2021 年 4 月 1 日
運 用 期 間	10 年
運 営 会 社	SBI インベストメント株式会社
主な投資領域	☐ 当社グループの DX プロジェクトに付随するもの ☐ 観光・インバウンドに付随するもの ☐ 新たなコンテンツ（エンタメ・旅行等）の開発に寄与するもの ☐ 生産性向上（業務効率化）に寄与するもの ☐ 中長期を見据えた新たな事業機会を開拓するもの ● ヘルスケア・ウェルビーイング ● 生活関連サービス （当社グループが現時点で手掛けていない生活に関わるサービス） ● SDGs・沿線価値向上 （沿線エリアにおける消費・移住・移動・雇用等の創出を通じた人口減少・高齢化対策、地域経済活性化等につながるサービス）

阪急阪神ホールディングス株式会社

取締役執行役員 グループ開発室長 上田 靖（うえだ やすし）

日本の農業を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足に加え、気候変動に伴う品質や収量の不安定化リスク、海外の事業者との価格競争など、さまざまな要因により厳しさを増しています。

また、このような状況の中で、環境に配慮した持続可能な農業生産を維持し、食糧自給率の向上を図っていくことは喫緊の課題となっています。

当社では、ゼブラグリーンの有する農業運営の知見とノウハウを取り入れ、持続可能な農業事業に取り組むとともに、農業事業を通じた自治体との連携の強化等により、さらに豊かなまちづくりの実現を目指してまいります。

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

以 上

阪急阪神東宝グループ